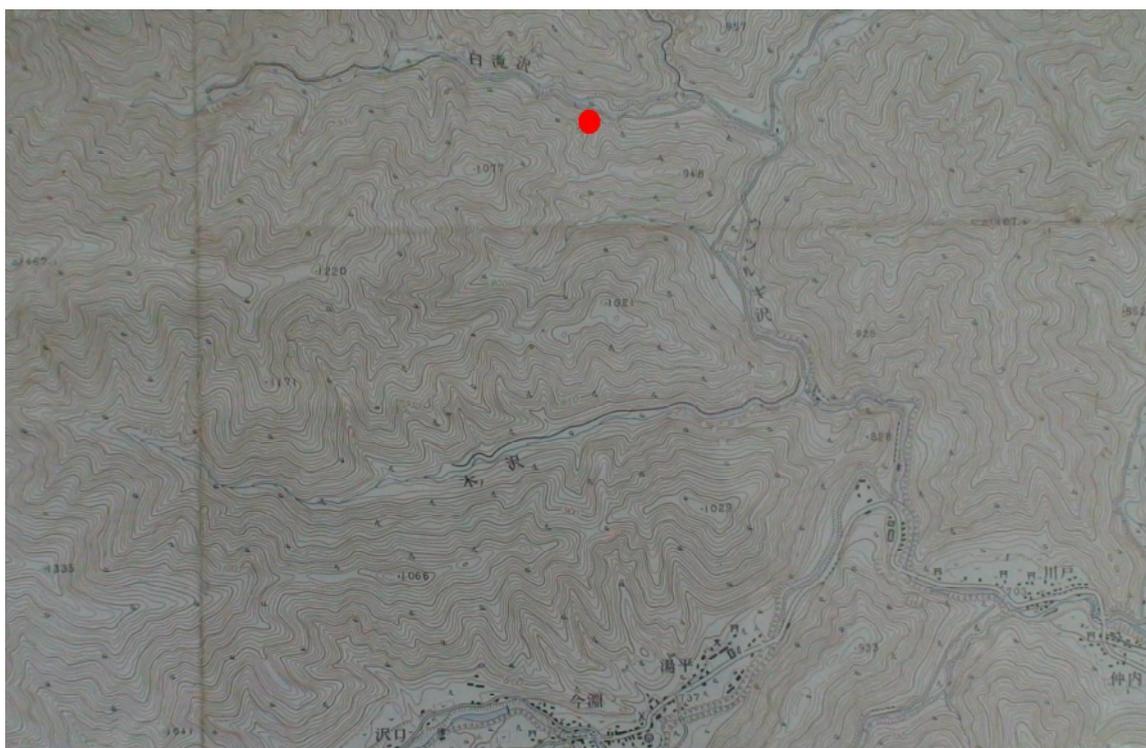


(12) 銅蔵(どうくら)鉱山跡

参考文献(1)を手引きにした。銅、亜鉛、鉛を採掘していた。文献には大きなズリの写真が有り、かつ結構な山奥なので、良い物が採集できるのではないかと期待して出かけた。参考文献には地図中に鉱山位置も記載していたので、場所の特定には何も問題ないと考えて出かけたわけであるが、それがそれが、2回ほど探査したのであるが、白滝沢の指定の場所には、写真で紹介しているような大きなズリ跡は全く見つけられなかった。時間が経過しているからであろうとも考えたが、地図中の指定箇所が違っているのではないかと考えながら、林道を下ってきた。白滝沢の下流には、現在では森林公園らしい施設が設置されている。芝生の椅子に腰掛けていた年配の女性に鉱山について聞いてみた。目の前が鉱山だったという返事であった。なんと、鉱山は目の前の多段となっている砂防ダムの所にあった(写真)。地図中の赤丸印の位置。地形図を気をつけてみると、この位置には崖の記号が付いていた！まさに鉱山のズリの跡であろう。砂防ダムに向かって、左側の林の中を登り、ダムの最上段を目指した。最上段は長細い平坦地となっている。右側に地下水が湧出している箇所があった(写真)。潰した坑口からのものであろう。



地図 国土地理院2万5千分の1地形図「湯西川」

探査日 2009年4月、その他の日

参考文献

(1)「鉱物観察ガイド」、松原 聡、東海大学出版、2008年。

鉾山跡写真



多段の砂防ダムとなっている。最上段の右に坑口跡がある。かつてのズリは完全に排除されたよう。残雪がまだ残って白く輝いている。



潰れた坑口から地下水が湧出している。めぼしい鉾物ズリは見かけない

採集鉾物写真

めぼしい物は採集できなかったので、未掲載